



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第30号

■ 例会日 / 2015年2月24日(火) ■ 開会点鐘 / 18:00
■ 会場 / ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう



本日の
プログラム

福島北RC・福島RC合同「北海道グルメ夜間例会」

ホスト / 福島北ロータリークラブ

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

- 開会点鐘 福島北RC会長 菅野日出喜 様
- ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 樋口幸一 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
福島中央RC 呉竹弘吉 様
- 会長挨拶 福島RC会長 丹治正博 会長
福島北RC会長 菅野日出喜 様
- 閉会点鐘 福島北RC会長 菅野日出喜 様

***** 懇親会 *****

- 料理のご案内 伊藤信弘 福島北RC会員
- 乾杯 阿久津肇 パストガバナー
- 懇親
- 閉会挨拶 金平祖隆 地区大会実行委員長

私のひとこと 門脇 渉 会員



二〇一五年四月～六月まで福島デイスティネーションキャンペーンが開催されます。ご承知の方も多いとは思いますが、これは地元観光関係者と自治体が、JRグループ六社をはじめ全国の旅行会社などと連携して行う国内最大級の観光キャンペーンです。今回は「花」「食」「温泉」「復興」「おもてなし」をテーマに開催されます。震災後、残念ながら福島県へ観光客は激減しており、震災前の比較では、修学旅行生は半数程度、インバウンドは二割程度しか戻っておりません。このままでは二〇二〇年の東京オリンピック、パラリンピックに向けても光は見えてきません。今回のDCは福島の観光復活へ向けてのスタートにしなければいけないのです。人口減少も著しい福島(東北)は観光のお客を増やし、交流人口を拡大していく事が地域活性化につながります。一月には、県の関係者の方々、宿泊施設の皆様方と、DC直前首都圏キャラバンに私も参加し、DCを大々的にPRして参りました。ぜひ福島県民全員で成功させたいものです。

今回の合同例会の開催につきましては、年度の始めに北クラブの菅野会長よりお誘いを頂きましたが、私はその時に忘れ物一つあったことを思い出しました。前回、合同例会が開催されましたのは、今から四年前のあの思まわしい大震災の直前の二〇一一年(平成二十三年)の一月二十日のことでした。当時は北クラブ阿部次雄会長、福島クラブ茂田土郎会長の年度でした。時がたつもの忘れて懇親を尽くし、大変愉快で意義深い例会であったことを記憶

致しております。そして、是非また近いうちにやりましょう、と全員で約束し合って散会したことを思い出しました。その直後に大震災がおこり、それどころでは無くなってしまいました。更には当クラブの創立六十周年、北クラブには二年後に五十周年と、両クラブとも慌ただしい状況が続き、今日に至りました。今回、その時の約束を四年ぶりに果たすことが出来たことを大変嬉しく思っております。

福島北RCと福島RCとのご縁は大変古く、私共福島RCが過去にスポンサーを務めた十のクラブのうち三番目に誕生したクラブとして、一九六三年(昭和三十八年)三月十一日に創立され、二〇一三年度(平成二十五年)川瀬会長年度には創立五十周年を迎えられました。今年度は、野崎潔ガバナーを輩出され、菅野日出喜会長のもと、クラブを挙げて二五三〇地区の運営に大変なご尽力を頂いておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

二〇一四―一五年度会長 丹治正博

私は、福島RC二〇一四―一五年度の会長を仰せつかっております丹治でございます。福島稲荷神社の宮司を務めております。本日は福島北RCと福島RCとの合同例会が久しぶりに開催され、北クラブの皆さま方と一緒させて頂きまして大変嬉しく存じます。

福島北RCと福島RCのご縁は大変古く、私共福島RCが過去にスポンサーを務めた十のクラブのうち三番目に誕生したクラブとして、一九六三年(昭和三十八年)三月十一日に創立され、二〇一三年度(平成二十五年)川瀬会長年度には創立五十周年を迎えられました。今年度は、野崎潔ガバナーを輩出され、菅野日出喜会長のもと、クラブを挙げて二五三〇地区の運営に大変なご尽力を頂いておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

今回は、北クラブの会員であり(懐かしい伊藤信弘社長さんのお骨折りにより、新鮮な海の幸を堪能させて頂けるとのことです。当クラブ会員一同大いに楽しみに致しております。また、四月下旬に予定されております地区大会の開催を控えて、主管される北クラブにおかれては、大会の成功に向けて、今はご準備の真っ最中と承っております。口幅つたい物言いで恐縮ですが、私共福島クラブ会員一同、今日のこの合同例会を、地区大会の成功を祈るとともに、主管される北クラブの皆さんを元気づけ、応援の会にしたいとの思いを持って参りました。

福島北RC・福島RC合同「北海道グルメ夜間例会」





彩り豊かな海の幸
春を先取るように
笑顔で会場が
満たされました



ロータリーソングよもやま話〈2の2〉

代表的なロータリーソング

日本で唄われる「我等の生業」は一業一人制のロータリアンがクラブを結成し、平和と親睦の目的に向かって、「クラブ奉仕」・「職業奉仕」・「社会奉仕」・「国際奉仕」の4大部門を通じて努力するという内容です。特に歌詞には職業奉仕の重要性が強く謳われています。

「奉仕の理想」は大体同じ内容ですが、自己の職業奉仕を通じて世のため、人のためになるように、最終的には世界平和が永遠に続くことを願望している歌詞です。

以上2つのソングはロータリーの代表的ソングであり、リズムも多少スローテンポで厳肅さがにじみ、身の引き締まる感があるので、通常大会や協議会の開会時やクラブ例会の開会・閉会時によく合唱されます。

「手に手つないで」はロータリーの拡大と親睦を内容として歌われ、クラブの会員結束と世界平和に向かって努力しようというリズムカルで、歌いやすいソングです。

「それでこそロータリー」は軽快なリズムにのったメロディーで1番の歌詞で会員同志の親睦を、2番では社会のため平和のため努力するという内容になっています。

知っておきたいロータリーソング

「日も風も星も」作詞 楠本健吉 作曲 古関裕而

この歌は福島が産んだ日本音楽界の重鎮、古関裕而が作曲したロータリーソングで、昭和48年、東京世田谷ロータリークラブの創立10周年記念事業として作られたものです。古関裕而は昭和50年に同クラブの第14代会長を務めました。福島のロータリアンとしては是非覚えて頂き、折に触れて歌いたい曲の一つです。

「Sing Everyone Sing」

福島クラブでは、外国からのロータリアンや米山奨学生が来訪する際に英語のロータリーソングを歌唱し、歓迎の意を表しています。このSing everyone singはイタリア民謡「海に来よ」が元歌で、とてもリズムカルで気持ちのいい歌です。英語の歌詞で早口の部分もありますが、是非レパートリーに入れておくと重宝すると思います。

★★よくある質問★★

国歌「君が代」を歌う場合のソングリーダーの作法

国歌を歌う際には、全員起立して国旗に注目して歌うのが常識とされています。その場合の指揮者（ソングリーダー）も全員の前で指揮はせずに、国旗に注目してともに歌うことが望ましいでしょう。

タクト（指揮棒）を使うか否か

この問題については、一般的にオーケストラを振るときは基本的にタクトを使用して、合唱などを振るときにはタクトは使用しない場合が多いようです。オーケストラにタクトを使用する理由として、オーケストラは同じ楽器を演奏する奏者が多いため、細かく指示をするため、またオペラピットに入っている場合、歌手が指揮者を見にくいからの理由からのようです。これに対して、タクトを使用せず、素手で指揮をすると感情が入れやすいからと言われる。

いずれにせよ、素手で指揮が出来ることが基本ですから、普段からタクトに頼らない習慣をつけておくと良いでしょう。

例会で流すロータリーソングは歌詞つきカラオケか

歌付きのCDを普段から使用していると、ただ口をパクパクさせているだけで、歌っていない会員も多く、ロータリーソングの趣旨からはずれてしまいます。一人一人が大きな声で歌う習慣をつけるために、伴奏のCDはカラオケ演奏版を使用することをお勧めします。

ロータリーソングのローテーションは

福島RCにおけるロータリーソング歌唱のきまり

- 月初め 国歌斉唱
- 第1週 奉仕の理想
- 第2週 我等の生業
- 第3週 それでこそロータリー
- 第4週 福島ロータリークラブの歌

※第5週がある場合には、第5週に福島ロータリークラブの歌を歌う、第4週は奉仕の理想、又は我等の生業を歌う

オリジナルのロータリーソングについて

福島クラブでは、クラブ創立20周年（1971年）にクラブの歌を作ることになり歌詞を募集しました。その1つが西形政次会員（福島西・西形会員の父君）の「福島ロータリーの歌」であり、他の1つが中村忠司元会員の「どんと行こうよロータリー」で、それに高野廣治会員が曲をつけたのです。曲の趣から「福島ロータリーの歌」は昼の例会で、「どんとゆこうよ」は夜の例会で歌うことになっていました。

作曲者の高野廣治さんは福島高商（現福大経済）卒の全くのアマチュアでありましたが、独学で学び、自らFMC混成合唱団を主宰し、やがて全日本合唱コンクールにおいて金賞または1位13回という前人未到の偉業をなしとげ、合唱王国福島の基礎を作った方です。本業は柳町で食品の卸売りで、1981-82年度のクラブ会長を務められました。

クラブソングを歌う時は大変誇らしい気持ちになります。周年事業などを機にオリジナルのクラブソングを作られることをお勧めします。

ロータリーソング以外の歌を歌って良いか

例会におけるロータリーソングの歌唱は、ロータリアンとしての任務や目標を再認識し、またクラブとしての団結力を高めることに寄与しています。しかしながら、普段歌う以外の大方のロータリーソングはなじみが薄く、実際にほとんどの会員が歌えないのが実情です。会を和ませることがロータリーソング歌唱の意義であることに思いを致せば、日本では昔から親しまれて歌い継がれてきた四季折々の懐かしい童謡・唱歌があり、これらをロータリーソングに合わせて、老若会員皆で声高らかに合唱することによって、その意義が更に深まるものと考えます。福島クラブではかつて例会の開会点鐘前に日本の唱歌を一年間歌ったことがありましたが、日本の唱歌の美しい歌詞を味わうとともに、年配会員と若い会員の会話のきっかけともなりました。

新会員にロータリーソングを覚えてもらうには

新会員に早く歌えるようになってもらうには、クラブの新会員セミナーで歌唱指導を行うこと、いつも歌うロータリーソングのCDを作成し、新会員入会時に差し上げること、ソングリーダーの研修会を開催し、指揮をする楽しさを体験してもらうことなどが挙げられます。（文責/丹治正博）

例会
プログラムの
ご案内

■ 3月12(木) → 14(土)に変更 14:00「二本松御苑」

「**県北第一分区インターシティ・ミーティング**」

■ 3月19日(木) 12:30～「辰巳屋」

・鈴木勇人新会員スピーチ

・PETS報告 幡研一会長エレクト

*「友」紹介 *「血圧測定」

■ 3月26(木) 18:30～「辰巳屋」

「創立記念夜間例会」